

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（令和7年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	28人	29人	478人	544人

イ 行事

- (ア) 10月12日 第30回全国消防操法大会（宮城県総合運動公園 グランディ・21）
ポンプ車の部 夜見分団 準優勝
- (イ) 随時 防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

ウ 消防団員教育訓練

鳥取県消防学校入校によるもの

- (ア) 4月20日～21日 基礎教育（第77期）
- (イ) 5月11日～12日 消防操法指導科（第47期）
- (ウ) 10月5日 警防科（53期）
- (エ) 9月7日 機関科（59期）
- (オ) 8月5日・6日・7日
11月16日・17日・24日 } 応急手当普及員養成講習
- (カ) 3月1日・2日 応急手当指導員養成講習

エ 報酬

（単位：円）

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額報酬	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員手当	消防ポンプ自動車機関員報酬年額				13,300		
	小型動力ポンプ付き積載車機関員報酬年額				7,800		
出勤報酬	出場、訓練、警戒等 1回につき				2,800		

オ 表彰等（主なもの）

表彰等の種類		階級	氏名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	副団長	養藤 繁
		分団長	山尾 孝範
		分団長	中田 利幸
		分団長	堀尾 道明
日本消防協会長表彰	功績章	副団長	浅田 正人
	精績章	分団長	福景 大基
		分団長	福島 公明
		部長	井上 かおり
	勤続章	副分団長	富田 政春
		部長	清水 光男
部長		大原 学	

表彰等の種類		階級	氏名
日本消防協会会長表彰	勤続章	班長	濱中 和則
		班長	片上 信行
		班長	棕田 義仁
		班長	小原 文男
		団員	廣江 智
鳥取県知事表彰	功労章	分団長	下村 賢治
		副分団長	富田 政春
	功績章	班長	本田 卓巳
		部長	長谷 直樹
		部長	青戸 淳一
		班長	原田 明
		班長	矢倉 克彦
		部長	野坂 貢弘
		班長	富田 行博
		団員	菊池 康裕
鳥取県消防協会会長表彰	功績賞	部長	安田 保
		部長	川口 康文
		班長	森本 好和
		班長	舘上 孝司
		班長	角 勇人
		班長	渡辺 穰爾
		班長	石賀 治彦
		班長	坪倉 和宏
		班長	猪狩 英明
		班長	坂金 毅
		班長	三村 一平
		班長	田中 孝広
	功労賞	副分団長	大上 透
		部長	長谷川 博美
		班長	畑中 久和
	勤続賞	部長	安田 保
		部長	松本 利弘
		部長	瀬尾 英信
		部長	川口 康文
		班長	石賀 治彦
		班長	江原 暁典
		班長	坪倉 和宏
		班長	猪狩 英明
班長		坂金 毅	
班長		三村 一平	
班長	田原 弘之		

表彰等の種類		階級	氏名
鳥取県消防協会会長表彰	勤続賞	班長	田中 孝広
		班長	安田 直
		団員	建井 崇征
		団員	谷本 健二
		団員	遠田 明弘
		団員	松下 聡一
		団員	長谷川 克己
		団員	国頭 直紀
		団員	山根 平吉

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団春日分団車庫・巖分団車庫の建替えを行った。

2 防災関係

(1) 日野川総合水防演習（国交省計画）

本演習は、国交省計画の中国5県で持ち回りで実施され、16年ぶりに日野川で開催された。

ア 実施日 令和6年5月25日（土）

イ 実施場所 米子市古豊千地先

ウ 参加者 米子市消防団、阿南市、県、西部2市7町村、气象台、陸自、警察、消防、水道局等

(2) 米子市防災訓練（住民避難訓練）

日野川総合水防演習の一環として、春日地区において洪水を想定した避難訓練及び防災啓発訓練を実施した。

ア 実施日 令和6年4月21日（日）

イ 実施場所 春日地区、箕蚊屋体育館

ウ 参加者 春日地区住民129人、陸上自衛隊、米子警察署、米子消防署、隊友会等

(3) 米子市防災訓練（要配慮者利用施設避難訓練）避難行動要支援者避難訓練及び福祉避難所開設訓練

日野川総合水防演習の一環として、博愛苑において洪水を想定した避難訓練を実施した。

ア 実施日 令和6年4月22日（月）

イ 実施場所 介護老人福祉施設 博愛苑

ウ 参加者 施設職員、入居者

(4) 防災ラジオ事業

令和2年度調達に係る防災ラジオ放送受信機の在庫及び追加調達により貸与事業を継続した。

防災ラジオ放送受信機の貸与状況

〈令和7年3月31日時点〉

区分	貸与先	貸与台数
有償	一般世帯（優先的貸与）	143

区分	貸与先	貸与台数
有償	一般世帯（一般貸与）	2,765
	事業所及び自治会	698
無償	自治会（又は自主防災組織）	414
	消防団	33
	公民館（戸別受信機未設置）	20
	指定避難所等	131
	地区社会福祉協議会の代表者	29
	在宅福祉員の地区代表者	29
	経済的に困窮する視覚障がい者（1級・2級）	137
合 計		4,399

(5) 災害時協力協定の締結

締結日	相手方	協定名
R6. 5. 22	株式会社シーエイチエス	災害時におけるペット同伴避難の協力に関する協定
R6. 8. 21	株式会社稲田本店	災害時における物資供給に関する協定
R6. 9. 26	有限会社みつば技建	災害時における応援業務等に関する協定
R6. 10. 29	株式会社伍代建設	災害時における応援業務等に関する協定
R7. 1. 30	米子工業高等専門学校	災害時における施設等の利用に関する協定

(6) 防災備蓄倉庫建築

淀江保育園跡地に防災備蓄倉庫（225㎡）を建築。3月30日に芝生広場と併せて完成式挙行。

3 災害関係

(1) 7月9日 大雨

- ・大雨（浸水害、土砂）、洪水警報
- ・米子市災害警戒本部設置（同日解除）
- ・被害状況 人的被害なし
- その他 家屋への水の流入、複数個所で道路冠水、県道(アンダーパス)で一時通行止め

(2) 7月10～11日 大雨

- ・大雨（土砂）警報
- ・米子市災害警戒本部設置 → 米子市災害対策本部設置
警戒レベル3「高齢者等避難」発令
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 自主避難所 → 指定避難所（7カ所、避難者3人）開設

(3) 8月27日 大雨

- ・大雨（浸水害）警報
- ・米子市災害警戒本部設置
- ・被害状況 人的被害なし
- その他 県道(アンダーパス)で一時通行止め

(4) 8月30～31日 台風10号

- ・大雨（土砂）警報

- ・米子市災害警戒本部設置
- ・被害状況 住家・人的被害なし

(5) 11月2日 大雨

- ・大雨（土砂、浸水害）、洪水警報
- ・米子市災害警戒本部設置
- ・被害状況 青木の住宅裏で法面崩落

住家・人的被害なし

その他 市道一時通行止め、水貫川の水位上昇によりポンプ排水

(6) 2月7～8日 大雪

- ・大雪警報
- ・米子市災害警戒本部設置
- ・被害状況 住家・人的被害なし

その他 停電、公共交通運休（JR、ANA、高速バス）

4 防犯対策関係

米子市防犯協議会総会

令和6年7月9日、米子市役所で開催した。

- | | | |
|-------|---------|-------------------|
| 会 長 | 田 邊 忠 雄 | （米子市自治連合会長） |
| 副 会 長 | 松 本 眞 | （米子市自治連合会副会長） |
| 〃 | 田 後 良 文 | （米子市社会福祉協議会長） |
| 〃 | 安 田 順 一 | （米子市学校校外指導連絡協議会長） |

5 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和6年6月4日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

- | | | |
|-------|---------|-------------|
| 会 長 | 伊 木 隆 司 | （米子市長） |
| 副 会 長 | 田 邊 忠 雄 | （米子市自治連合会長） |

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

- ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数配布した。
- イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

6 原子力防災関係

(1) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の初動対応訓練を実施した。

ア 初動対応訓練

- (ア) 実施日 令和7年2月6日（木）
- (イ) 実施場所 市役所本庁舎
- (ウ) 参加者 市長、関係幹部

イ 住民避難訓練

- (ア) 実施日 令和6年11月16日(土)
- (イ) 実施場所 崎津地区、伯耆町B&G海洋センター、倉吉市営武道館
- (ウ) 参加者 住民86人

ウ 原子力防災講座

- (ア) 実施日 令和6年11月9日(土)、令和6年11月10日(日)
- (イ) 実施場所 崎津公民館2階 集会室
- (ウ) 講師 MRI エムアールアイリサーチアソシエイツ
- (エ) 参加者 崎津地区住民等

エ 船舶を利用した避難訓練

- (ア) 実施日 令和6年7月31日(水)
- (イ) 実施場所 境港竹内岸壁～鳥取港
- (ウ) 参加者 防災安全課職員 1人

(2) 原子力防災講演会の開催

- ア 開催日 令和6年12月6日(金)
- イ 会場 国際ファミリープラザ 3階 会議室B
- ウ 講師 日本原子力研究開発機構 原子力安全・防災研究所安全研究センター
研究主席 博士(工学) 高原 省五 氏

(3) 鳥取県原子力安全対策合同会議の開催

ア 第1回鳥取県原子力安全対策合同会議

(ア) 開催目的

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の一連の許認可審査結果等について、原子力規制庁、内閣府、資源エネルギー庁及び中国電力株式会社から説明を受ける。

- (イ) 開催日 令和6年9月9日(月)
- (ウ) 会場 米子コンベンションセンター2階 国際会議室

イ 第2回鳥取県原子力安全対策合同会議

(ア) 開催目的

島根原子力発電所2号機の特定重大事故等対処施設等に関する設置変更許可について、中国電力株式会社から審査結果等について説明を受ける。

- (イ) 開催日 令和6年11月24日(日)
- (ウ) 会場 米子ワシントンホテルプラザ2階「らん」

7 国民保護関係

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

座学及び弾道ミサイルを想定し来庁者の避難誘導や自身の身を守るための訓練を実施した。

- (1) 実施日 令和7年2月4日(火)
- (2) 場所 市役所本庁舎
- (3) 参加者 職員50人